

病虫害発生予察情報

12月月報

平成 17 年 1 月 13 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2004 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	16.2	3.2	4.1	1.3	9.7	1.9	68	540	60.7	116
中旬	13.7	2.2	5.5	4.2	9.4	3.2	1	7	54.0	92
下旬	9.5	-1.4	1.4	1.1	5.4	0.1	28	337	57.8	87
平均	13.0	1.2	3.6	2.2	8.1	1.7				
合計							97	270	172.5	97

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬は平年に比べかなり高かったが、下旬はほぼ平年並であった。

降 水 量：上・下旬は平年に比べかなり多かったが、中旬は少なかった。

日照時間：月を通してほぼ平年並であった。

<天候概況>

上旬：概ね晴れの天気であったが、4日から5日にかけては低気圧が急速に発達しながら本州を通過し、大雨となった。またこの低気圧の影響により、東京(大手町)では最大瞬間風速 40.2m/s を観測し、統計開始以来の極値を更新した。

中旬：冬型の気圧配置となり、晴れの日が多かった。

下旬：冬型の気圧配置となり、晴れの日が多かった。29日と31日は関東南岸を低気圧が通過したため雪となり、31日は東京(大手町)で積雪 2cm を観測した。なお東京(大手町)では29日に初雪(平年より4日早く、昨年より2日遅い)、30日に初霜(平年より16日遅く、昨年より8日遅い)と初氷(平年より19日遅く、昨年より13日早い)を観測した。

2 作物生育概況

(1)野菜類

果菜類：促成イチゴは前半は高温のため生育が進んだが、後半は平年並の気温となり、やや遅れ気味となった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウなどは前半は高温のため生育が進んだが、後半は平年並の気温となり、平年並の生育となった。キャベツ、ブロッコリーは、湿害による生育遅れのまま低温期となり、小玉傾向であった。ダイコンは生育が遅れ気味であったが、収穫物の出来は平年並であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ(施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナミハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ナモグリバエ類(施設)	< 少 >	発生は少なかった。
-------------	-------	-----------

(2) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 多 >	発生は多かった。
シクラメンホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(3) 島しょの病害虫

特記事項なし

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。